

令和4年度 学校経営方針

丹波篠山市立味間小学校

1 学校教育目標

夢や目標を持ち、将来にわたって学び続ける児童の育成

2 めざす児童像

- ◇あ 明るくあいさつができる子
- ◇じ 自分から進んで取り組み、課題を解決する子
- ◇ま 負けない心、やさしい心と強い体をつくる子

3 子どもにつけたい力

- ・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力 人間性等）
- ・何を理解しているか 何ができるか（知識・技能）
- ・理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力）

4 めざす教師像

- 役割を自覚し、創造的なアイデアを生み出す教師
- 児童が将来にわたって自分の「学び方」を持てるように指導する教師
- 児童の共感的理解に努め、それぞれの個性をより発揮できるよう指導する教師

5 具体的な取組

（1）夢や目標をもち、自立して未来に挑戦する児童の「生きる力」を育む

- ①自分の将来を描き、学ぶことや働くことの意義・役割等を理解させ、キャリアプランニング能力を育成するためのキャリア教育に取り組む。
- ②自然体験、社会体験、ものづくり体験等多様な体験活動を通して、人や社会と自分との関わりを認識させる。
- ③グローバル化が進む社会において、発達段階に応じて、英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進を図る。
- ④児童の内面理解に努め、心に響き自尊感情を高める道徳教育を推進する。

（2）確かな学力の育成をめざし、自ら学び自ら考える授業を創造する

- ①児童が主体的、対話的で深い学びができるよう学習指導を工夫し、将来にわたって自分の「学び方」を身につけた児童を育成する。
- ②集団学習やグループ学習などの学習形態の工夫や指導者の適切なコーディネートにより、対話による深い学びの価値を実感させ、将来にわたって学ぶ喜びを味わわせる。
- ③児童が見通しを持って学習に取り組めるよう予習や復習の内容を工夫し、保護者と連携しながら家庭学習の定着・充実をめざす。

(3) 児童が持っている良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る

- ①児童一人一人の内面に対する共感的理解に努め、児童の良さや可能性を引き出す生徒指導に努める。
- ②気持ちのよいあいさつ、**ていねいな言葉遣い**、時間を意識した行動などの基本的な生活習慣の定着をめざし、保護者や地域と連携しながら指導を行うとともに、**指導者自らが学校での生活環境（言語環境）を整える。**
- ③児童会活動や学級活動等で児童の主体的な活動を促す。
- ④いじめはいつでもどこでも起こり得るものという認識に立ち、いじめの早期発見、早期解消に努めるとともに、**いじめ問題を主体的に解決しようとする集団づくり**に努める。

(4) 保護者・地域との連携を深め、ふるさと味間に根ざした「地域とともにある学校づくり」を探求する。

- ①学校運営協議会を基盤に、学校と保護者・地域が一体となった新しい学校運営や効果的な教育活動の実現をめざす。
- ②地域の人材や教材を活用した「ふるさと教育」を推進し、**地域の良さを学び、ふるさとを愛しふるさとに誇りを持つ児童**を育成する。
- ③学校だより・学級通信・ホームページ等を通して積極的に本校の教育活動を発信し、地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。

(5) 安全安心な学校づくり・学級づくりを基盤とした、豊かな人間関係と人権感覚を育成する。

- ①様々な学習活動や豊かな体験活動を通じて人権感覚を身につけ、互いの良さや個性を認め合う人権教育を行う。
- ②個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、全教職員の共通理解のもとに児童一人一人に応じた特別支援教育を推進する。
- ③定期的な安全点検を徹底して行うとともに、教職員及び児童の安全意識の高揚を図る。
- ④安全な生活習慣や態度を身につけ、危険予測・危険回避能力を高める安全教育を教育活動全体で進める。
- ⑤働きやすい職場づくりと**学校教育改革の視点から学校業務改善を総合的に推進**する。

(6) 自分の健康や体力に興味をもち、体育やスポーツ活動の楽しさや喜びを味わわせ、体力・運動能力の向上を図る。

- ①体育の授業や新体力テスト等によって体力や運動能力の状況を把握させ、自主的・意欲的に体力を向上させる態度を育てる。
- ②心身の健康、感染症の予防、食育、薬物乱用防止教育等の健康教育を推進する。
- ③健康診断の結果を保護者と共有し、**早期に治療・処置が実施**されるように啓発を行う。